

秦野市・東海大学連携

かつこい！浮世絵展

秦野市と東海大学の4回目の連携展は、学生たちとかつこい！浮世絵を探しました。東海大学の授業で、学生がかつこい！と選んできた作品や、教員がこれは？と提示した作品をみんなで検討することで、作り上げた展覧会です。かつこい！という感覚は時代とともに変化しますので、この展覧会は江戸の文化を紹介するだけでなく、今を写し出す鏡となっています。かつこい！にはいろいろあり、生き方や内面のかつこいさは絵だけでは、わかりにくいものもありますが、かつこい！を探しに展覧会に足をお運びください。



豊原国周 市川團十郎演藝百番 五 暫

◆ ギャラリートーク(作品解説)のお知らせ ◆

- 【日時】 11月19日(金) 14:00~15:00
加藤次直 (東海大学)
12月17日(金) 14:00~14:30
スタッフ
- 【会場】 図書館2階視聴覚室
- 【定員】 各日20名
- 【申込】 11月5日(金)から受付
文化振興課へ電話
(0463-86-6309)
- 【参加費】 無料

令和3年(2021年) 11月13日(土) ~ 令和4年(2022年) 1月16日(日)

- ◆ 開室時間 9:00~19:00(火曜日、祝日は17:00まで)
- ◆ 休室日 月曜日(祝日の場合は翌日)、11月29日(月)~12月6日(月)、12月29日(水)~1月3日(月)
- ◆ 会場 はだの浮世絵ギャラリー(秦野市立図書館2階)
住所 〒257-0015 秦野市平沢 94-1(カルチャーパーク内) TEL 0463-81-7012
- ◆ 交通 小田急線秦野駅北口バス3番のりば《秦08系統》渋沢駅行き(日立製作所/桜土手経由)「文化会館前」下車
小田急線渋沢駅北口バス1番のりば《秦08系統》秦野駅行き(日立製作所/桜土手経由)「文化会館前」下車
- ◆ 主催 秦野市 ◆ 協力 東海大学スチューデントアチーブメントセンター
- ◆ 問い合わせ 文化振興課(0463-86-6309)
- ◆ ホームページ <https://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/1524794537613/index.html> →

入場無料



No.	題名	作者名	制作年代
1	とん兵衛	三代歌川豊国	嘉永1年5月(1848年)
2	斎藤太郎左衛門 蔵人一子力若	三代歌川豊国	嘉永4年9月(1851年)
3	木曾街道六十九次之内 二十 杳掛 黄石公 張良	歌川国芳	嘉永5年6月(1852年)
4	駒場之風景	歌川芳虎	明治3年4月(1870年)
5	東京桜田風景	歌川芳虎	明治3年5月(1870年)
6	市川団十郎演芸百番 五 暫	豊原国周	明治27年(1894年)
7	市川団十郎演芸百番 和藤内	豊原国周	明治31年7月(1898年)
8	当世好男子伝(とうせいすいこでん)	三代歌川豊国	安政6年8月(1859年)
9	近世水滸伝 競力富五郎 中村芝翫<4>	三代歌川豊国	文久1年6月(1861年)
10	七伊呂波拾遺 八 八犬伝 信乃 現八	三代歌川豊国	安政3年8月(1856年)
11	工藤左衛門 沢村訥升<1>・十郎祐成 市川団蔵<5>・五郎時宗 市川海老蔵<5>	歌川国貞	天保末頃(1839年～1842年)
12	市川団十郎演芸百番 大星由良之助	豊原国周	明治31年7月(1898年)
13	当世はうた合	三代歌川豊国	安政6年12月(1859年)
14	(御名残又平) 関三十郎<2>	歌川国芳	文政9年9月(1826年)
15	袴垂保輔 中村芝翫<4>・平井保昌 市川団十郎<9>	楊洲周延	明治16年(1883年)
16	市川団十郎演芸百番 十八番之内 象引	豊原国周	明治31年3月(1898年)
17	放駒の長吉 沢村田之助<3>・濡髪長五郎 中村芝翫<4>	三代歌川豊国	元治1年10月(1864年)
18	平太郎良門	三代歌川豊国	安政6年8月(1859年)
19	木曾街道六十九次之内 三 蕨 犬山道節	歌川国芳	嘉永5年5月(1852年)
20	七面大明神由来	歌川芳虎	文久3年7月(1863年)
21	風船昇遥図	歌川芳虎	明治5年11月(1872年)
22	観音靈験記 秩父順礼十六番 無量山 西光寺 円比丘	二代歌川国貞 二代歌川広重	安政6年4月(1859年)
23	源頼光 沢村訥升<2>・土蜘蛛精霊 沢村田之助<3>・渡辺綱 市川九蔵<3>・坂田金時 中村芝翫<4>	豊原国周	元治1年9月(1864年)
24	木曾街道六十九次之内 十五 板鼻 御曹子 牛若丸	歌川国芳	嘉永5年5月(1852年)
25	木曾街道六十九次之内 四十 須原 業平 二条后	歌川国芳	嘉永5年7月(1852年)
26	乙姫	歌川国芳	弘化4年11月(1847年)
27	山海愛度図会 三十 おへんじをいたぎたい 美濃 すそまた川の鯉	歌川国芳・芳幾	嘉永5年12月(1852年)
28	山海愛度図会 五十八 一寸あいたい 但馬 鯖	歌川国芳・大二	嘉永5年12月(1852年)
29	木曾街道六十九次之内 五十一 伏見 常磐御前	歌川国芳	嘉永6年2月(1853年)
30	木曾街道六十九次之内 五十七 赤坂 光明皇后	歌川国芳	嘉永5年7月(1852年)
31	木曾街道六十九次之内 七十 大津 小万	歌川国芳	嘉永5年7月(1852年)
32	力士出世之酒盛	井上探景	明治22年5月(1889年)
33	古今名婦伝 小野小町	三代歌川豊国	安政6年10月(1859年)
34	観音靈験記 秩父順礼第四番 荒木 荒木丹下	二代歌川国貞 二代歌川広重	安政6年5月(1859年)
35	市川団十郎演芸百番 三 勸進帳	豊原国周	明治26年(1893年)
36	見立三十六歌撰之内 大中臣能宣 舎人松王丸	三代歌川豊国	嘉永5年10月(1852年)
37	通俗三国志之内 関羽義心曹操釈図	歌川国芳	嘉永6年4月(1853年)
38	通俗三国志之内 孔明六擒孟獲	歌川国芳	嘉永7年8月(1854年)
39	木曾街道六十九次之内 三十六 藪原 陶春賢	歌川国芳	嘉永5年6月(1852年)
40	近江八景之内 堅田落雁 瀧夜叉	三代歌川豊国	嘉永5年7月(1852年)
41	此下東吉 大谷友右衛門<5>・松永大膳 中村芝翫<4>・ゆきひめ 沢村訥升<2>	豊原国周	慶応3年1月(1867年)
42	かながしらの源平 沢村訥升<2>	三代歌川豊国	文久3年5月(1863年)
43	当盛見立三十六花撰 河原撫子 八重垣紋三	三代歌川豊国	文久2年(1862年)
44	見立三十六歌撰之内 小野小町 はま路	三代歌川豊国	嘉永5年11月(1852年)
45	童戯武者尽	歌川広重	安政1年12月(1854年)
46	木曾街道六十九次之内 二十三 岩村田 大井子田畑を潤す	歌川国芳	嘉永5年7月(1852年)
47	双筆五十三次 三島	三代歌川豊国 歌川広重	嘉永7年8月(1854年)